

西新潟中央病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] パーキンソン病患者における、睡眠障害と長期臨床経過との関係についての検討

[研究責任者] 医局 脳神経内科 医長 長谷川有香

[研究の目的]

パーキンソン病は、運動障害だけでなく多彩な非運動症状も伴う全身の病気です。非運動症状は QOL を低下させるものであり、そのうちの一つである睡眠障害を有する頻度は 40-90%と高く、この原因はパーキンソン病の進行や薬剤の影響、加齢など複雑です。

2006年に当院でパーキンソン病患者さんにアンケート調査を行いました。ここで、日中の過度の眠気の指標の ESS ≥ 10 点 が 47%、パーキンソン病特関連睡眠障害を示す PDSS-2 ≥ 15 点が 43%を占め、睡眠障害を有する頻度が高いことを明らかにしました。

しかし、これまで、睡眠障害を有することがその後の長期的な臨床の経過にどのような影響するかについての報告はほとんどありません。そこで、本研究を、パーキンソン病患者さんにおける睡眠障害の有無と長期的な臨床経過との関係を明らかにすることを目的として行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

パーキンソン病患者さんで、2006年6月時に当院で行ったアンケート調査に回答くださった方

●研究期間：院長承認後から2025年12月31日

●利用する検体やカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、診療録に記載のあるパーキンソン関連症状、罹病機関、薬剤量、検査結果（画像検査：頭部MRI、MIBG心筋シンチグラフィ、ドーパミントランスポートスキャン、脳血流SPECT）、パーキンソン病評価スケール(UPDRS2, 3)、神経心理検査結果、介護保険主治医意見書

●検体や情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際

作成日：2024年11月19日 第1版

も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構西新潟中央病院

所属：脳神経内科

職名：医長

氏名：長谷川有香

電話：025-265-3171（代表）